

第10回集学的理学療法セミナー

# 脳卒中者における フレイル・サルコペニア評価に 基づいた臨床展開

脳卒中リハビリテーションでは、病気の本態である“脳”に限らず、全身のさまざまな機能・状態を管理し介入を行うことで、リハビリテーションの効果を向上させることが明らかになってきています。骨格筋の筋萎縮（サルコペニア）、フレイル、低栄養、多疾患併存を有した脳卒中者に対するリハビリテーション手法や、脳卒中の再発・重症化予防について臨床研究を実施・開発している野添匡史先生をお招きし、脳卒中患者へのリハビリテーションの最新知見とその臨床展開についてご講演いただきます。

**講師：野添匡史 先生**

関西医科大学リハビリテーション学部

理学療法学科・准教授



**日時：2024年10月4日（金）**

**19：00～20：30**

**開催形式：ハイブリッド**

（札幌医科大学 学内者対面，学外者Webinar）

**参加費：無料**

**申し込み：**

<https://sites.google.com/view/smupt>

もしくはQRコードから参加登録をお願いします



本セミナーは令和6年度札幌医科大学学術振興事業費の助成を受け開催されます

主催：札幌医科大学保健医療学部理学療法学科